

明治三十三年五月八日 第三種郵便物認可 (每月四日十四日廿四日三回發行)

縣報

第七十一號

明治卅五年三月廿四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第三十一號

明治三十四年四月和歌山縣令第三十三號本縣中學校規則中左ノ通改正シ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

本令施行ノ際現ニ中學校ニ在學スル生徒ニ課スベキ學科目及其程度ハ便宜斟酌シテ之ヲ定ムベシ

明治三十五年三月十三日

和歌山縣知事 椿 葵一郎

第三條 學科ハ修身、國語及漢文、英語、歷史、地理、數學、博物、物理及化學、法制及經濟、圖畫、唱歌、体操トシ其課程左ノ如シ

學科	每週	學年	全	上	全	學年	全	上	全	學年	全	上	全	學年	全	上	全	學年	全	上	全	
年	教授	第一	學年	上	第二	學年	上	第三	學年	上	第四	學年	上	第五	學年	上	第六	學年	上	第七	學年	上
修身	一人倫道德ノ要	一	全	上	一	全	上	自己家族社會國家ニ對スル	一	全	上	一	全	上	一	全	上	一	全	上	一	全
國語及漢文	七	講讀、作文	七	全	上	七	全	上	六	全	上	六	全	上	六	全	上	六	全	上	六	全
法、習字	七	全	上	七	全	上	六	全	上	六	全	上	六	全	上	六	全	上	六	全	上	六

縣報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

英	英語六	讀方、譯解、綴、讀方、譯解、七、文、會、書取、七全	上七全	上
地	地理三	日本、歷史、日本、歷史、三、東洋、歷史、二、西洋、歷史、二、萬國、歷史	上七全	上
數	算術四	日本、地理、二、外國、地理、三、外國、地理、二、西洋、地理、二、萬國、地理、二	上七全	上
植	植物二	第一學期及衛生、第二學期動物、第三學期動物	上七全	上
物理及化學	物理及化學	第一學期、第二學期、第三學期	上七全	上
法制及經濟	法制及經濟	第一學期、第二學期、第三學期	上七全	上
圖	圖畫一	自在畫、自在畫、自在畫、自在畫	上七全	上
唱	唱歌一	普通樂譜法一全	上七全	上
體	體操三	普通體操三全	上七全	上
計	計二八	算術四代、算術四代、算術四代、算術四代	上七全	上

法制及經濟ヲ缺キタル學校ニ於テハ其ノ每週教授時數ハ英語歴史地理ニ唱歌ヲ缺キタル
學校ニ於テハ其每週教授時數ハ圖書ニ配當スベシ

第四條 學校設備ノ狀況ニ依リ補習科ヲ置ク

補習科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、英語數學法制及經濟体操トシ其ノ他ヲ隨意科目トス
第二十五條ヲ削リ以下各條順次操上グ

第二十七條中再試験ヲ追試験ニ改ム

第二十八條中全科卒業ヲ第五學年卒業ト改ム

第三十條本文中壹圓ヲ壹圓貳拾錢ニ改ム

縣報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

四

○和歌山縣令第三十二號

明治三十四年十一月 本縣令第百二號炭疽預防區域中左ノ地域ハ本日限リ解除ス

明治三十五年三月十四日

和歌山縣知事

椿

泰一郎

一那賀郡池田村大字古和田小字中通一圓

一海草郡川永村大字楠本小字南垣内ノ内

東 松山八十助横小路以西

西 全人居宅横小路以東

南 全 前小路以北

北 中村巳之吉地通以南

一海草郡有功村大字六十谷

東 前田藤之助宅地角小溝以西

西 尾崎垣内大西長兵衛宅地以東

南 全 箱作往來以北

北 寺村林左衛門宅地小溝以南

一圓

一圓

縣報第六十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

六

○和歌山縣令第三十三號

縣稅賦課取締規則左ノ通定メ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

但明治三十二年^二縣令第五號及ビ明治三十四年^三縣令第二十五號ハ本令施行ノ日ヲ以テ

廢止ス

明治三十五年三月十七日

和歌山縣知事

椿 莖一郎

縣稅賦課取締規則

第一條 縣稅營業稅雜補稅ヲ納ムヘキ義務ノ住シタルモノニシテ左ノ各稅ヲ納ムベキモノノ外ハ即日其ノ地ノ郡市長ニ届出ヘシ但シ管外來漁者及住所ヲ管内ニ定メサル役乘人ハ便宜ノ郡市役所ニ届出ヘシ

一 演劇、興行、遊覽所、遊技場、海面捕魚、海面採藻、狩獵、鑛業鑛區稅割

第二條 前條ノ届書ニハ業目種別住所年齡及ヒ縣稅課目課額ニ掲クル課稅ノ標準ニ該當スル事項ヲ記載シ國籍證書ヲ受有セル船舶ハ其ノ證書寫ヲ添付スヘシ但シ年齡ハ第八條ニ依リ鑑札ヲ受クルヲ要スルモノノ外記載ヲ要セス又住宅ト營業場工業場ト所在ヲ異ニスルモノハ其ノ營業場工業場所在地地名番ヲ記載スベシ

第三條 船舶ヲ所有スル者ハ定繫場ヲ定メ第一條第二條ニ依リ其ノ定繫場所在地ノ郡市長ニ届出法律命令ニ依リ國籍證書又ハ船鑑札ヲ受有スルモノノ外船體ニ檢印ヲ受クベシ船體ヲ變更シタルトキ亦同シ

第四條 車ヲ所有スル者ハ第一條第二條ニ依リ郡市長ニ届出其ノ車体ニ檢印ヲ受ク、シ其ノ車体ヲ變更シタルトキ亦同シ但シ車輻ハ警察署又ハ警察分署ニ於テ車体檢査ヲ受クル前郡市長ニ届出ヘキモノトス

第五條 船ノ長間數ヲ測度スルハ舳ヨリ艫ニ至ル内部ノ總長ヲ測度シ其ノ間數一間ニ滿タルモノハ一間トシ一間以上ハ間位ニ止メ端數ハ切捨トス

人力車ハ乘臺内幅曲尺二尺未滿ヲ一人乗トシ二尺以上ヲ二人乗トス荷積車ハ荷臺ノ坪數十四坪未滿ヲ小車(大六以下)トシ十四坪以上ヲ大車(大七以上)トス其ノ坪數ノ測度ハ左ノ方法ニ據ル但シ曲尺方一尺ヲ以テ一坪トス

一 荷臺兩側縱椀ノ外部ヨリ外部マデノ間ヲ幅トシ前後橫椀ノ外部ヨリ外部マデノ間ヲ長トシ其ノ長幅相乘シ得タル坪數トシ一坪未滿ノ端數ハ切捨トス但シ縱椀ノ兩端(荷臺以下ノ部分ヲ指ス)曲尺六寸ヲ極度トシ其ノ度ヲ超過スルモノハ荷臺ノ積面ニ算入スヘシ

二 函車ノ類ハ其ノ内部ヲ測度ス但シ普通荷臺ニ容函ヲ附著シタルモノハ此ノ限ニアラス

三 荷臺ノ前後尖形ニ作リタルモノハ其ノ尖形部ノ長ト車臺ノ幅トヲ相乘シ二分シタルモノヲ積面ノ坪數ニ算入ス

第六條 私法人建物稅ヲ納ムヘキモノノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 法人ノ名稱及ビ營業ノ種目

二 建物所在地名地番

三 土地并建物坪數 家屋倉庫製造場店舖其ノ他付屬建物ノ坪數ヲ區別シテ記載スヘシ

四 建物賃貸價格

建物賃貸價格ハ國稅營業稅課稅標準ノ價格ヲ記シ國稅ヲ納メサルモノニアリテハ營業用ノ土地建物ノ借料ニ相當スルモノヲ以テ建物ノ賃貸價格トシ左ノ各號ニ依リ賃貸價格ヲ算定スヘシ但シ住居ニ供スル建物其ノ他直接ニ營業ニ使用セサルモノト雖モ同一區域内ニアリテ法人ノ所有又ハ借入ニ屬スルモノハ總テ算入スヘシ

一 法人ノ借入ニ屬スル建物ハ何等ノ名義ヲ用ユルニ拘ハラズ土地建物ノ貸借上借主ヨリ貸主ニ支拂フモノヲ以テ建物賃貸價格トス

二 法人ノ所有ニ屬スル建物若ハ無償借入ノ建物ニアリテハ近傍借家ノ借料ニ照準シテ建物賃貸價格ヲ定ムヘシ但シ近傍ニ照準スベキ借家ナキトキハ其ノ土地建物ノ時價ヲ各別ニ算定シ土地ハ其ノ百分ノ五建物ハ百分ノ十ヲ以テ建物賃貸價格トス

第七條 左ノ各目ニ該當スルモノハ所轄郡市役所ニ於テ標札ヲ受ケ住宅店舗營業場工業場等戶外ノ見易キ位置ニ掲クヘシ

一 商業工業職工ヲ除ク料理屋、待合茶屋、芝居茶屋遊船宿、飲食店湯屋理髮人遊藝師匠市場(臨時ニ開ク)水車藝技置屋ニ於テハ藝技ノ氏名ヲ記シタル票札ヲ製シ之ヲ前項標札ノ傍ニ掲グヘシ

第八條 左ノ各號ノ業ヲ營ム者ハ第一條ノ届出ト同時ニ郡市役所ニ於テ鑑札ヲ受クヘシ但シ營業主ト同居スル家族雇人ヲシテ行商セシムル者ハ營業主ニ於テ鑑札ヲ受クヘシ一行商職工遊藝嫁人相撲行司俳優藝妓酌婦幫間乘馬自轉車死牛馬取扱人管外來漁海面遊

漁取員鮎漁船漁青海苔筏乘

二工業者（職工ノ外）理髮人遊藝師匠等ニシテ出稼スル者及ヒ露店ヲ開ク者

鑑札ハ各自之ヲ携帯スヘシ但シ乘馬ハ其ノ馬ニ自轉車ハ其ノ車ニ緊付ヘシ

第九條 船車所有者ニシテ届出ヲナシ未ダ檢印ヲ受ケタル前之レヲ使用セントスルモノハ

市役所町村役場ニ於テ屆濟ノ証票ヲ受ケ之ヲ船車ニ貼付スヘシ

第十條 市場（臨時ニ開ク古物市ヲ除ク）ニシテ日稅ヲ納ムヘキモノハ開業前日ニ郡市長ニ届出ヘシ但

シ開業日數ヲ豫定シ該稅額ヲ一時ニ豫納スルヲ得若シ豫定ノ日數ノ伸縮又ハ課稅標準ニ

異動ヲ生シタルトキハ其ノ時々届出ヘシ

第十一條 屠畜ヲ爲ス者ハ屠殺ノ前日其ノ獸名及頭數ヲ帳簿ニ登記シ市町村長ニ差出シ其

ノ帳簿ニ檢印ヲ受ケ納稅ノ上所轄警察署又ハ分署ヘ屠殺届出ノ際其ノ証ヲ示スベシ

第十二條 左ノ各號ニ該當スルモノハ即日郡市長ニ届出ヘシ但シ他郡市ヘ營業又ハ物件ヲ

移轉シタル場合ハ双方ノ郡市長ニ届出ヘシ

一 廢業死亡物件ノ亡失廢毀改氏名

二 縣稅賦課規則第二十四條ニ該當スル事由ノ生シタルトキ及ビ國稅營業稅法ニ依リ課稅

標準ノ届出ヲ爲シタルトキ

三 課稅標準業目種別ノ異動増減

四 同一郡市内又ハ他郡市他府縣ニ營業又ハ物件ノ移轉

營業又ハ物件ヲ讓受ケ納稅義務ヲ繼承スル場合ハ双方連署シテ届出ヘシ

納稅義務ヲ負フモノ死亡シタルルキハ其ノ遺族又ハ親戚ヨリ届出ヘシ

第十三條 前條ニ依リ納稅義務ノ消滅シタルモノハ標札又ハ鑑札ヲ返納シ船車ハ檢印ノ部分ヲ切取リ返納シ又ハ消印ヲ受ケ改氏名其ノ他標札鑑札面ノ異動ハ書換ヲ受クヘシ
他都市ヘ移轉シタルモノハ前ニ受ケタル標札鑑札ハ之ヲ返納シ移轉地ノ郡市役所ニ於テ更ニ之ヲ受クヘシ

第十四條 標札鑑札ハ賣渡貸渡若ハ讓渡ヲ爲スヲ得ス

標札鑑札ヲ亡失毀損シ又ハ船車檢印ノ不判明トナリタルルキハ其ノ事由ヲ届出標札鑑札ノ再渡又ハ再檢印ヲ受クヘシ

第十五條 職工理髮人遊藝稼人相撲行司俳優封間藝妓酌婦筏乘及行商其ノ他出稼ヲ爲スモノハ其ノ市町村内ニ於テ納稅引受人ヲ定メ第一條ノ届書ニ連署セシムヘシ

物件營業場工業場及船舶定繫場所在地ノ市町村内ニ現住セサル者ニ前項ニ依リ其ノ物件營業場船舶定繫場所在地ノ市町村内ニ於テ納稅引受人ヲ定メ届出ツベシ納稅引受人死亡若ハ他市町村ヘ轉居シタルトキハ更ニ納稅引受人ヲ定メ連署ヲ以テ届出ヘシ

第十六條 府縣制第百五條ニ依リ納稅義務ノ生シタル者ハ納稅義務發生ノ初ニ遡リ該期間ノ稅額ヲ一時ニ納ムヘキモノトス

第十七條 遊藝師匠藝妓酌婦ニシテ下級地ニ於テ鑑札ヲ受ケタル者一時上級地ニ到リ營業シ若ハ下級地上級地ヲ通シテ營業セントスル者ハ上級地ノ鑑札ヲ受クヘシ

第十八條 前各條中郡長ニ差出スヘキ届書ハ總テ町村長ヲ經由スヘシ但シ居住地外ニ於テ

業ヲナスモノ若ハ物件ヲ所有スルモノハ其ノ地ノ市町村長ヲ經由スヘシ

第十九條 第一條第十條第十一條第十二條第一項第三號ノ届出ヲ爲サス若ハ虚偽ノ届出ヲ爲シ又ハ第三條第四條ニ依リ檢印ヲ受ケサルモノ及ヒ第七條第八條第九條第十三條第十四條第一項第十七條ニ違背シタル者ハ五拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス
第二十條 此ノ規則ニ依リ下付スル標札鑑札及ヒ船車檢印證券等ハ左ノ様式ニ據ル

第一標札様式

第 號	郡市町	大字番地
(營業地何々)	村	
○業	氏	名
目		
製	明治何年何月何日	

縦五寸

横三寸

備考

- 一 住居地ト營業地ト異ナルモノハ氏名ノ冒頭ニ營業地名ヲ記ス
- 一 商業中藝妓置屋ハ業目ニ藝妓置屋ト表記ス

第二鑑札様式

何第何號

何郡市何町大字番地
氏名

紙

縣稅何々業鑑札

明治何年何月何日

和歌山縣何郡市役所印

縱五寸五分

橫三寸五分

何第何號

何郡市何町大字番地
氏名

縱三寸

裏

何郡市役所印

木

表

●縣稅何々業鑑札年齡傳年何月

明治何年何月何日

橫二寸

備考

一木製鑑札ハ職工乘馬自轉車海面遊漁管外來漁海面取貝河川鮎漁船漁筏乘及行商ニ
限リ付與シ其他ハ紙製鑑札ヲ付與ス
一寄留者又ハ管外ノ者ハ原籍地ヲ併記ス

一居住地ト營業店舖ト異ナルモノ又ハ藝妓酌婦ノ鑑札ニハ氏名ノ冒頭ニ營業地名ヲ記入ス

一藝妓遊藝師匠(出稼スルモノ)遊藝稼人ハ其ノ藝名鮎漁鰯漁ハ其ノ河川名管外來漁者ハ其ノ地名又ハ寄港地名ヲ鑑札面氏名ノ冒頭ニ記入ス

一雜種稅ハ其ノ種目ヲ鑑札面ニ記載スルモノトス但シ海面遊漁ハ舟漁磯釣ノ別ヲ掲クヘシ

第三檢印樣式

和歌山縣

曲尺方一寸二分

免稅

縱二寸二分
橫一寸三分

消

縱一寸六分
橫一寸一分

長何間

縱二寸二分
橫一寸一分

牛馬車

縱二寸二分
橫一寸一分

大車

寸法全上

二人乘

縱一寸八分
橫八分

一檢印ハ總テ烙印トシ船舶ハ其ノ船首ニ車輛ハ車臺ノ右側ニ烙印ス但人力車ハ蹴込ノ前面ニ烙印ス

第四證票樣式

船車種名	住所
届済証票	氏名
年月日	
何郡町役場 村役場	
横三寸	縦五寸

第五藝妓票札様式

札木	
藝妓	氏名
	又ハ藝名

縦凡五寸横巾適宜

二名以上ヲ寄寓セシムルホハ氏名又ハ藝名ヲ連記スルヲ得

懸紙第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

十六

明治三十五年三月二十四日

○和歌山縣令第三十四號

縣稅檢査規則左ノ通定ム

明治三十五年三月十九日

和歌山縣知事

椿 藁一 郎

縣稅檢査規則

第一條 縣稅ヲ納ムヘキ者ニシテ法律命令ニ違フコトナキヤ否ヲ檢査セシムル爲メ縣稅檢

査員ヲ各市町村ニ派遣ス

第二條 縣稅ヲ納ムル者ハ縣稅檢査員ノ尋問ニ對ヘ及其要求アルトキハ帳簿物件鑑札納稅

證書等ノ檢査ヲ受クヘシ其縣稅ヲ納メサル者ト雖モ縣稅檢査員ノ尋問及要求アルトキ亦

同ジ

第三條 縣稅檢査員ニ於テ檢査上必要アリト認ムルトキハ警察官吏若クハ市町村吏員ノ補

助ヲ求ムルコトヲ得

第四條 縣稅檢査員ハ證書ヲ携帶シ受檢者ノ請求アルトキハ之ヲ示スヘシ

第五條 縣稅檢査員ノ檢査ヲ拒ミタル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第六條 本則ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

證 票 式

表

縣稅檢查員證票

縣印

裏

割 印

和歌山縣縣稅檢查員

官職 何某

○和歌山縣令第三十五號

明治三十三年三月和歌山縣令第二十五號中和歌山實業新聞ノ次へ左ノニ新聞ヲ追加ス

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ施行ス

明治三十五年三月十九日

和歌山縣知事 椿 素一郎

和歌山新聞

南海新聞

和歌山縣令第三十五號參照

明治三十三年三月和歌山縣令第二十五號ハ本縣公文ヲ縣報并新聞紙ニ登載スルヲ以テ公布式

ト定ムル件

雜報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

二十

此種郵便物認可
明治三十五年三月二十四日
第三種郵便物認可
二十

○和歌山縣令第三十六號

明治三十四年十一月十一日 本縣令第百二號炭疽豫防區域中左ノ地域ハ本日限り解除ス
明治三十五年三月十九日

和歌山縣知事 椿 兼一 郎

一海草郡川永村大字楠本小字南垣内ノ内

東 松山八十助横小路以西

西 全 人横小路以東

南 全 人居宅前小路以北

北 中村已之吉地通リ以南

一圓

蘇報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

二十二

○和歌山縣令第三十七號

明治三十四年十一月十一日 本縣令第二百二號炭疽豫防區域中左ノ地域ハ本日限り解除ス

和歌山縣知事

椿 素一郎

明治三十五年三月十九日

一 那賀郡根來村大字奧安上谷小字東谷 一圓

經緯第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

二十四

○訓令

○和歌山縣訓令甲第十五號

明治三十四年三月當縣訓令甲第二十號別冊航路里程表中第三表へ左ノ通追加ス
明治三十五年三月十三日

既定表中空欄へ追加ノ分

和歌山縣知事 樺 養一郎

勝浦	三輪崎間	五、二分ノ一
勝浦	串本間	一五、二分ノ一
田邊	比井間	二二、
御坊	比井間	八、
加太	和歌山間	六、

廳	中	一	般
郡	役		所
警	察	署	署
全	分	署	署
縣	立	學	校
縣	立	病	院
縣	立	測	候
物	產	陳	列
		場	

新ニ追加シタル航路

						和歌山 三三、
					和歌浦 二、	五、
				黒江 〇、六	日方 〇、六	六、
			塩津 一、			七、
		箕島 二、四、				一一、
	御坊 二、六、					
	印南 一〇、					三三、
田邊						

○和歌山訓令甲第十六號

明治二十五年十月訓令第二百五十八號縣稅營業稅商業工業種類中左ノ通改正ス

和歌山縣知事

椿

泰一郎

- 一 商業種類中諸受負業ノ下割注ヲ削除ス
- 一 工業種類中「諸受負業」ヲ削除ス

郡	役所
市	役所
町	役場
村	役場

縣報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

二十八

○告示

○和歌山縣告示第六十七號

左記ノ者本日頭書番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登録ス

明治三十五年三月十二日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

和歌山市北田邊町九番地和歌山縣士族

加 藤 光 惠 明治十五年三月生

第四九一號

○和歌山縣告示第六十八號

明治三十四年度和歌山縣農工銀行株式引受資金歲入歲出追加豫算縣參事會ニ於テ左ノ通り議決セリ

明治三十五年三月十四日

和歌山縣知事

椿 泰一郎

明治三十四年度農工銀行株式引受資金歲入歲出追加豫算

第一款

農工銀行株式引受資金 金五萬圓

第一項

農工銀行株式引受國庫交付金 金五萬圓

歲 出

第一款

農工銀行株式引受資金 金五萬圓

第一項

農工銀行株式引受拂込金 金五萬圓

○和歌山縣告示第六十九號

縣報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

二十九

他府縣在住者ニシテ福岡縣内ニ於テ銃獵ヲ爲ス者ハ來ル明治三十五年度ヨリ其出獵ノ初ニ於テ左記ノ縣稅一時ニ賦課スヘキヲ以テ同縣内便宜ノ市町村ニ申出納稅スヘキ旨今般同縣知事ヨリ通牒アリ

明治三十五年三月十八日

和歌山縣知事

椿 藁一郎

縣稅雜種稅

一 銃獵 狩獵法ニ依リ乙種
免狀ヲ有スルモノ

一等

稅金拾圓

二等

稅金五圓

三等

稅金壹圓

但等級ハ狩獵法ノ等級ニ依ル

○和歌山縣告示第七十號

來ル十九日午前八時ヨリ 雨天 西牟婁郡潮岬望樓敷地内ヨリ東「クシ」ノ鼻ニ向テ望樓員定期教練小銃實彈射擊施行スヘキ旨潮岬海軍望樓ヨリ通知アリ就テハ同日牛馬及小舟等射擊場附近ニ出入セサル様注意スヘシ

明治三十五年三月十八日

和歌山縣知事

椿 藁一郎

○和歌山縣告示第七十一號

明治三十五年度蠶業講習會設置ノ位置區域日割等本縣蠶業講習會規則第十一條ニ依リ左ノ

通り相定ム

明治三十五年三月十九日

和歌山縣知事

椿

素一郎

蠶業講習會位置區域及日割

位置	區域	期	間
那賀郡中貴志村	中貴志村	自明治三十五年四月三日 至全 年六月十五日	七十四日間
西牟婁郡田邊町	田邊町、港村 西ノ谷村	全	同
海草郡 雜賀村	雜賀村 和歌浦町 岡町 村 雜賀崎村	自明治三十五年七月六日 至全 年七月十九日	十四日間
全 郡 和佐村	和佐村	全	同
全 郡 有功村	有功村	自全 年七月二十日 至全 年八月二日	同
全 郡 木本村	木本村 貴志村	全	同
全 郡 龜川村	龜川村	自全 年八月二日 至全 年八月十六日	同
全 郡 宮 村	宮村鳴神村岡崎村宮前村	全	同
那賀郡細野村	細野村、眞國村	自同 年八月二十一日 至同 年九月三日	同
全郡長谷毛原村	長谷毛原村 猿川村	全	同

縣報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

三十一

同郡 西貴志村	西貴志村	自同	年九月九日	同
伊都郡 九度山村	九度山村	至同	年同月二十二日	同
同郡 紀見村	紀見村	自同	年九月二十九日	同
同郡 橋本町	橋本町	至同	年十月十一日	同
有田郡 南廣村	南廣村	自同	年十月十七日	同
同郡 生石村	生石村	至同	年十月三十日	同
同郡 安譚村	安譚村	自同	年十一月五日	同
日高郡 矢田村	矢田村	至同	年同月十八日	同
同郡 川中村	川中村	自同	年十一月二十四日	同
同郡 鹽屋村	鹽屋村 名田村	至同	年十二月七日	同
同郡 切目村	切目村 切目川村 岩代村	自同	年十二月十三日	同
西牟婁郡 栗栖川村	栗栖川村 二川村	至同	年同月二十六日	同
同郡 三栖村	三栖村	自同	年十二月十三日	同
同郡 三舞村	三舞村 日置村	自明治三十六年一月七日	年一月二十日	同

東牟婁郡明神村	明神村	高池町	三尾川村
同郡請川村	請川村	同	同
同郡九重村	九重村	玉置口村	北山村
同郡四村	四村	同	同

自同	年二月一日
至同	年同月十四日
自同	年二月二十日
至同	年三月三日

同 同 同 同

○和歌山縣告示第七十二號

左ノ通り豫戒命令執行セリ
明治三十五年三月廿日

和歌山縣知事 椿 泰一郎
和歌山縣和歌山市三番町四番地平民土木受負業

右ハ明治二十五年勅令第十一號豫戒令第一條第三號及第四號ニ該當スル者ト認ムルヲ以テ
同令第二條ニヨリ左ノ事項ヲ命令ス

- 一 總テ他人ノ開設スル集會ニ立入り妨害ヲ爲ス可カラサルヲ命ス
- 二 如何ナル口實ニ拘ハラズ財物ヲ強請シ不當ノ要求ヲ爲シ強テ面會ヲ求メ脅迫ニ涉ル書面ヲ用ヒ勸告書ヲ送り又ハ如何ナル方法タルヲ問ハズ暴威ヲ示シテ他人ノ進退意見ヲ變更セシメムトシ其ノ他他人ノ業務行爲ヲ妨害シ又ハ妨害セムトスルノ所行ヲ爲ス可カラサルヲ命ス

三人ヲ使用シテ總テ他人ノ開設シタル集會ヲ妨害シ又ハ妨害セムトシ又ハ他人ノ業務行爲ニ干涉シテ其ノ自由ヲ妨害シ又ハ妨害セムトスルノ所行ヲ爲サシメサルコト及ヒ豫戒命令ヲ受ケタル者ヲ扶助シ又ハ使用ス可カラサルヲテ命ス但親族ノ故ヲ以テ之ヲ扶助スル場合ハ此限リニアラス

豫戒命令ヲ受ケタルキヨリ三年以内ニ於テ右第一號ヲ犯スルハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處ス第二號ヲ犯スルハ一月以上四月以下ノ重禁錮ニ處シ其ノ處犯官吏又ハ公吏ノ職務ニ對スルキハ一等ヲ加フ第三號ヲ犯スルハ二月以上六月以下ノ重禁錮又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

豫戒命令ヲ受ケタル者其ノ現住居ヲ轉スルキハ轉居ノ前二十四時間内ニ其旨ヲ舊住居ノ所轄警察署ニ届出テ轉居ノ後二十四時間内ニ其ノ旨ヲ新住居ノ所轄警察署ニ届出ツ可シ犯スルハ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

明治三十五年三月廿日

和歌山縣知事 椿 蒨 一郎

和歌山縣和歌山市小野町三丁目三十七番地平民

土木受業 田 中 兵 吉 文久元年八月廿日生

右ハ明治二十五年勅令第十一號豫戒令第一條第三號ニ該當スル者ト認ムルヲ以テ同令第二條ニヨリ左ノ事項ヲ命令ス

- 一 總テ他人ノ開設スル集會ニ立入り妨害ヲ爲ス可カラサルヲテ命ス
- 二 如何ナル口實ニ拘ハララス財物ヲ擧請シ不當ノ要求ヲ爲シ強テ面會ヲ求メ脅迫ニ涉ル書

面ヲ用ヒ勸告書ヲ送り又ハ如何ナル方法タルヲ問ハス暴威ヲ示シテ他人ノ進退意見ヲ變更セシメムトシ其ノ他他人ノ業務行爲ヲ妨害シ又ハ妨害セムトスルノ所行ヲ爲ス可カラサルコトヲ命ス

豫戒命令ヲ受ケタルキヨリ三年以内ニ於テ右第一號ヲ犯スキハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處ス第二號ヲ犯スキハ一月以上四月以下ノ重禁錮ニ處シ其ノ所犯官吏又ハ公吏ノ職務ニ對スルキハ一等ヲ加フ

豫戒命令ヲ受ケタル者其現住居ヲ轉スルキハ轉居ノ前二十四時間内ニ其ノ旨ヲ舊住居ノ所轄警察署ニ届出テ轉居ノ後廿四時間内ニ其旨ヲ新住居ノ所轄警察署ニ届出ツヘシ犯スルキハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

明治三十五年三月廿日

和歌山縣知事

椿 莨一郎

縣報第七十一號

明治三十五年三月二十四日

第三種郵便物認可

三十六終

明治三十三年
五月八日
第三種郵便物認可